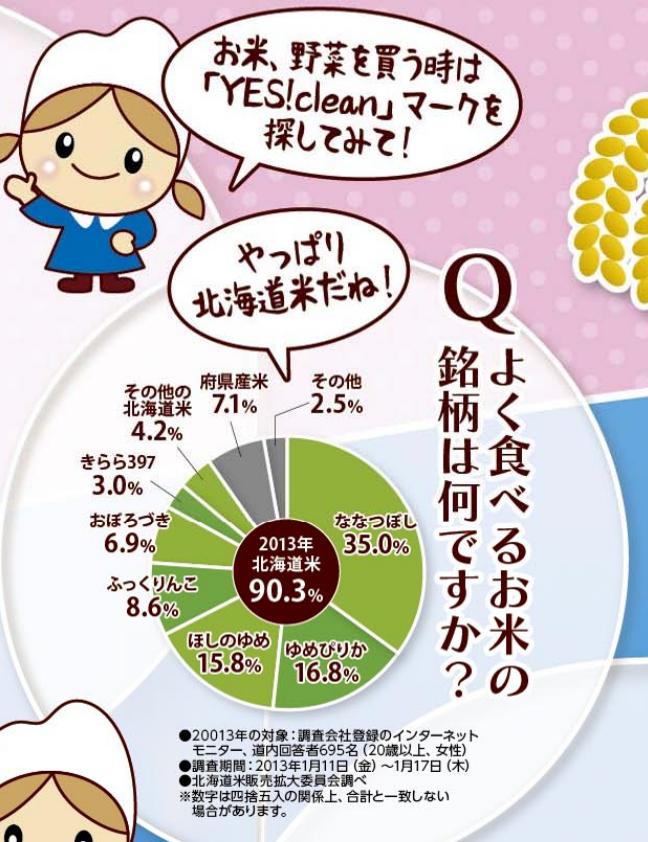


A yellow promotional poster for JA's Auto Mutual Aid (JA自動車共済) "Estimate Only Present Campaign". The top features the JA logo and the campaign title "お見積りだけでプレゼントキャンペーン" (Get a present just by estimating). Below the title is a large red circle containing the word "だけ" (only). To the right is a stack of colorful Anpanman clear files. A speech bubble on the right says "もれなくもらえる" (You get it for free). The center has a banner "抽選で300名様に当たる!" (300 winners will be drawn by lottery). Below the banner are four prize categories: A (Dyson DC45 motorhead), B (Travel stay券 for Hokkaido hot springs or city hotel), C (Anpanman disaster prevention set), and D (Hokuren selection catalog gift). On the left, there are two children smiling: a girl making an 'OK' hand sign and a boy pointing upwards. Speech bubbles say "店頭でもお宅訪問でもOK!!" (OK at the counter or home visit!) and "お気軽にどうぞ!!" (Feel free!). At the bottom left is a small note: "※写真はイメージです。内容が変更になる場合がございます。" (This is an image. Content may change.) The top right corner shows the "北海道限定 JA共済" logo.

YES!clean 農産物 表示制度



北海道クリーン農業推進協議会では、北海道で生産されたクリーン農産物に対する理解と信頼をより一層得るために、クリーン農業技術の導入等、一定の基準を満たした農産物にYES!cleanマークを表示し、それぞれの詳しい栽培情報をホームページ等でお知らせしています。作物毎に、化学合成農薬の使用基準および肥料・化学肥料の使用基準等が設定されています。北海道クリーン農業推進協議会とは、北海道、ホクレン他流通団体、消費者団体等関係機関が構成員となり、クリーン農業を全道的に広めるために、生産者や消費者へのPR活動や必要な対策の検討などを行なう組織です。



この認定マークは、北海道の形や「米」という文字をイメージしながら「ゆめぴりか」という米が持つ美しい輝きを表現しています。内側のエレメントは、アイヌ語の「ピリカ」つまり「美しい」女性の横顔のイメージです。北海道では、生産から販売まで北海道が一体となって「ゆめぴりか」の品質維持・ブランド化に取り組んでいます。生産者や各地のJAなどで構成する「北海道米の新たなブランド形成協議会」が、米粒に含まれる「タンパク質」や、「栽培適地での生産」、「種子更新率100%」など細かく基準を制定。その基準をクリアしたものだけが、「ゆめぴりか」として認定マークを付与され、販売されます。この認定マークは、「美味しいと安全・安心の証」なのです。「ゆめぴりか」は品質確保のために努力を惜しまないたくさんの人達の力によって守られています。

そらち南 米の施設



丹精込めて作られたお米のほとんどは、この大型施設へ粉の状態で搬入されます。2施設で約18,000t（由仁施設1万トン・栗山施設8千トン）を受け入れし、品種ごと、お米に含まれるタンパク質の含有率ごとに分けられ均質調製を行います。お米の品質が均質になり大量の注文にも対応することが可能となり、お客様からの評判も良く、検査を受けた後玄米として全国各地へ出荷されます。

JA Sorachi minami RICE Story



地元の学校給食にも

JAでは、地産地消、食育に貢献するため、地元の子供たちに地元のお米を食べて貰うため、学校給食用としてJAそらち南減農薬米生産組合の「ななつぼし」を由仁町・栗山町へ寄付しております。また、各小学校を対象とした農業体験学習も行っており、農産物がどのように栽培されているのかを実感してもらい、農業を身近な存在として認識してもらう活動や、青年部主催で田植え体验ツアーや稲刈り体験ツアーを実施するなど、農業への理解を高めてもらう活動にも力をいれております。

JAそらち南 ゆめぴりか生産組合



JAそらち南
ゆめぴりか生産組合
組合長
南坂 明憲

JAそらち南ゆめぴりか生産組合は、会員数が323戸で約1,200haのゆめぴりかを生産しております。お米に含まれる「タンパク質」や、「種子更新率100%」、「栽培方法」などの細かい基準が定められており、それをクリアしたもののみが「ゆめぴりか」として販売されます。その他に、更なるブランド形成に向けて栽培目標基準を設けており、ゆめぴりかを作付けしている生産者が全員で取り組み、高品質で安心・安全な生産に努めています。

JAそらち南 減農薬米生産組合



JAそらち南
減農薬米生産組合
組合長
瀬尾 正樹

そらち南減農薬米生産組合では、農薬の使用成分数を慣行の半分にまで減らして米作りをおこなっております。

現在、約100戸の農家が同じ農薬、同じ基準で安全・安心なお米を作っており、今後も高品質なお米を提供して参りますので宜しくお願い致します。

安心して
食べられるね!

米-1 グランプリ

第3回 米-1グランプリinらんこし



昨年の11月16日には、「米-1グランプリinらんこし」が蘭越町で開催され、JAそらち南からゆめぴりか生産組合と米作研究会がゆめぴりかを出品しました。全国から200点以上の出品があったなか、ゆめぴりか生産組合が見事グランプリ、米作研究会が準グランプリに輝き、「日本一おいしいお米」に選ばれ、品質の高さを証明する結果となりました。

“日本一おいしいお米”
米-1グランプリに
選ばれたんだよ!

